

独創的な技術により生み出される熱交換器製造システムが国内外からの高いシェアを獲得。

代表取締役社長
村山 圭司

世界一を目指す為には、夢のようなことを追いかけることも時には必要だと思います。課題が難しければ失敗は付き物です。失敗してもくじけず、何かそこから学んで次に繋げながら成長していく。そんなチャレンジ精神に富んだ若い人に期待したいと思います。

技術1部
山浦 司

信州大学工学部卒
2011(平成23)年入社

社会人になり学ぶことが山のように増えました。学んだことを活かし計画→実行→評価→改善 (PDCA) の繰り返しを日々送っています。先人の知恵を借り、そこに新たな技術、アイデアを加え常に進化させていくことが、今の若者に期待されていると思います。やりがいのある仕事、職場を自らの手で創りあげていきましょう。

企業の強み

・熱交換器製造機器というニッチな市場ではあるが、専門メーカーとして長年にわたり国内外の大手エアコンメーカー各社を顧客として圧倒的に高いシェアを実現してきた。そのことを通し、技術・ノウハウの蓄積を確実なものとしながら、この市場の特性に合った最適な工場環境整備・機械装置類の意欲的な導入を可能とすることで、強みのさらなる強化という良循環を実現している。

目指す企業の姿

- ▶ **経営理念** ・ 機械を販売するのではなく、我々の誠意と努力を販売し、顧客の満足感を充足させ高い技術力と製品の信頼性により、熱交換器製造機器の分野で世界No.1企業を目指す。
- ▶ **経営戦略** ・ 商品の最高の機能と品質および最良のサービスで差別化する。
・ 顧客のニーズを先取りした商品(製造システム)開発・サービスを実現するための体制(工場環境・機械装置類・人材)を構築し活動する。
・ 大学や研究機関との連携を通し、コア技術力を強化する。
・ 特許とノウハウを着実に蓄積し、競合他社を寄せ付けない。
- ▶ **将来ビジョン** ・ 地球温暖化が進む中、省エネに繋がる高性能エアコン等の需要は増大する一方である。そんな状況下で日高精機は、保有する高いレベルの技術力・機械設備類等を駆使して作り続ける高性能熱交換器の高効率製造システムが、顧客であるエアコンメーカー各社の世界中のより多くの工場で活躍し続けていることを目指す。
・ 独自の塑性加工技術をベースに、さまざまな分野への研究開発を積極的に取り組んでいる。大学に派遣した社員が「日本塑性加工学会賞」論文賞を受賞するなど学問的貢献も大きく、今後も独自の研究開発に力を入れていく。

基礎情報

事業内容 熱交換器製造システムの開発/設計/製造
所在地 長野県上田市下之郷812-11
資本金 25,080万円
従業員数 113名
設立 1961年
売上高 43億8,000万円(2014年3月)
初任給 大学院卒▶216,000円、大卒▶208,000円
短大卒▶176,000円、高卒▶164,000円
福利厚生 社会保険(健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険)、社員持株会、財形貯蓄、退職金共済、再雇用制度、社員旅行、各種サークル活動(野球・テニス・スキー・釣り他)、スポーツ大会、バーベキュー大会など
休日・休暇 週休2日制(土・日)、GW休暇、夏季休暇、年末年始休暇など年間休日115日(当社カレンダーによる)、年次有給休暇、計画年休(誕生日休暇)、特別休暇、育児休暇、介護休暇

最近の雇用状況

	23年度	24年度	25年度
採用人数	8	5	2



社屋外観



自社製品

学生から見た魅力

働きがい

★熱交換器製造システムの分野で国内外から非常に高い評価を得ている企業でありながら、常に、新分野・新技術に向け、絶えず挑戦し変革し続けていくとする風土の企業なので、社員のモチベーションも非常に高く、上昇志向の強い会社という印象を持ちました。

職場の雰囲気

★部門の枠を超えて情報を共有し、技術やノウハウを高め、市場や顧客ニーズに対応する柔軟性とスピーディさがある会社だと感じました。国内外に対して大きな影響力があるだけに、担う責任も大きいと思いますが、会社として団結して取組み進んでいく雰囲気のある会社だと感じます。

将来性

★今後、更にグローバル化を進めるにあたり、業界や市場だけではなく、大学との連携も強化していくことで、企業としての認知度も向上していくのではないかと感じます。
★高い技術力とものづくり体制が更に確立されることで、業界や市場における優位性が高まると思います。